



かながわ フリートーク

横浜にドーム球場建設を
目指そうと市民団体「横浜
ドームを実現する会」が再
結成した。16日の総会には
神奈川県内の経済人を中心
に約150人が集まった。
10年前に頓挫したドーム建
設運動。昨秋にプロ野球、
横浜ベイスターズの球団売
却、本拠地移転騒動があつ
たなか、再結成した狙いを
会の幹事長を務める建設会
社サカクラ（横浜市）の坂
倉徹社長に聞いた。

横浜にドーム球場を

「実現する会」幹事長
坂倉 徹氏



企業・市民で建設費賄う

受けて、横浜に数万人が一に働くと考えた」
堂に集まれる場ができれば、横浜周辺の観光施設に
も人が増える。ドームなら音楽分野などの有識者を呼
ぶ野球以外のスポーツやコンサートシンポジウムを開き、
「企業や市民から出資を募って建設費が賄えればと
サートなど多様なイベントドーム建設の意義などを広
く理解してもらおう。年内に思つ。市民にはスポーツ観
戦優待などを用意し、株主が試合で勝ってもらい、1
被害を及ぼす心配はない。賛同する企業や自治体など
羽田からは東京ドームより関係団体が集まる協議会を
横浜の方が近いことも有利つくり、具体的な建設方法も
二手法。自治体財源から

「10年前はドーム建設費は自治体が賄う公共工事
のイメージが広まってしま
い「ハコモノ行政だ」と批
判されてしまった。実際の
どう見る。」

「プロ野球の試合ができ
る受け皿（ドーム球場）を
用意することが、横浜で試
合を続ける好材料となる。」

ドームになれば雨天中止の
心配がなくなり、観客動員
数が安定して収益向上につ
ながる。我々が受け皿を作
ると同時に、ベイスターズ
が試合で勝ってもらい、1
998年の優勝時のような
横浜が一体となって盛り上
がる光景を再現したい」
（聞き手は榊原健）

神奈川